

令和 7 年 1 0 月 2 3 日
九州圏広域地方計画推進室
(九州地方整備局)
(九州運輸局)

新たな九州圏広域地方計画 「中間とりまとめ（案）」の公表

今回、新たな九州圏広域地方計画「中間とりまとめ（案）」を作成しましたので公表いたします。

引き続き、新たな九州圏広域地方計画策定に向けて議論を進めて参ります。

現行（第二次）九州圏広域地方計画は、平成 2 7 年 8 月に閣議決定された第二次国土形成計画（全国計画）を受け、平成 2 8 年 3 月に策定し、計画を推進しているところです。

しかし、未曾有の人口減少や少子高齢化の加速、巨大災害リスクの切迫、激甚化・頻発化する自然災害、コロナ禍を契機とした暮らし方・働き方の変化やデジタル化の進展等、国土をめぐる社会経済状況が大きく変化しています。そのため令和 5 年 7 月 2 8 日に第三次国土形成計画（全国計画）が閣議決定されました。

新たな九州圏広域地方計画についても、これらの動向を踏まえ、九州圏広域地方計画協議会において、令和 6 年 1 2 月 2 3 日に「中間とりまとめ（素案）」を公表し、現在まで計画策定に向けて、議論を進めて参りました。

この度、新たな九州圏広域地方計画「中間とりまとめ（案）」を作成しましたので公表いたします。

今後、圏域内市町村からの計画提案等を経て、今年度末頃（令和 8 年 3 月頃）の計画策定（国土交通大臣決定）を目指し、引き続き取り組んでまいります。

※ 九州圏広域地方計画協議会は、経済団体、地方公共団体及び地方支分部局により組織しています。

【公表資料】

- ◆ 「九州圏広域地方計画 中間とりまとめ（案）」
- ◆ 「九州圏広域地方計画 中間とりまとめ（案）概要版」

詳細については、九州圏広域地方計画のホームページ

(<http://www.qsr.mlit.go.jp/suishin/index.html>) をご覧ください。

《問い合わせ先》

九州圏広域地方計画推進室

(九州地方整備局企画部広域計画課)

課長

まつなが
松永 鉄治

課長補佐

こやなぎ
小柳 誠

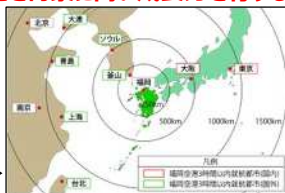
TEL092-476-3552

九州圏広域地方計画 中間とりまとめ（案） 概要版（対象区域：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県）

現状・課題

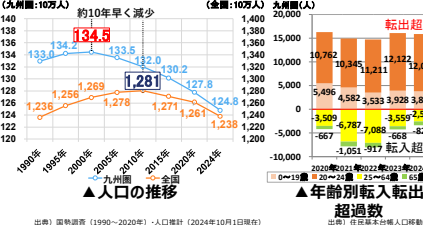
■ 基幹産業や再生可能エネルギーなどを背景に高い成長力を有するものの、人口減少や大規模災害などの課題も存在する九州圏

- アジア大陸に最も近い圏域で、アジアの主要都市とも近接。
- アジアの玄関口（ゲートウェイ）として貿易やインバウンドが拡大。
- 外国人労働者数は増加傾向。



福岡を中心とした
アジア主要都市との距離

- 人口減少、少子高齢化が進み、担い手、後継者不足が顕在化。
- 高校生や大学生に該当する24歳以下の若い世代が他圏域に転出超過。
- 合計特殊出生率は全国平均より高い。

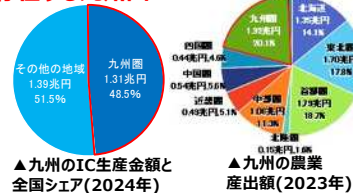


（出典）国勢調査（1990～2020年）・人口推計（2024年10月1日現在）

（出典）住民基本台帳人口移動報告

産業

- 半導体産業や自動車産業、農林畜産業等の基幹産業が堅固に推移。
- 農業算出額のシェアは高く、我が国の食料生産拠点形成。
- 近年はIC（集積回路）生産額の全国シェアが大きく伸び、グローバルな産業生態系を形成。



▲九州のIC生産金額と
全国シェア（2024年）

▲九州の農業
産出額（2023年）

災害と環境保全

- 風水害・土砂災害・火山災害や南海トラフ巨大地震等の災害への対応や交通基盤の冗長性確保が必要。
- 世界自然遺産や温泉など豊かな自然環境を保有。



九州圏にて近年発生した災害と
南海トラフ巨大地震時の津波
被害甚大エリア

将来像・目標

アジアの成長センター『アイランド九州』～個性・魅力を発揮しながら、ひとつにまとまり発展し、誇れる九州～

目標1 成長エンジン「アイランド九州」

～交流と変化を競争力へ～

ゲートウェイ機能を強化し、多様な人々が集い賑わう国際交流拠点を形成することで、国際競争力の向上とイノベーションによる新たな産業の創出を促し、圏域内の経済や暮らしを成長させるとともに、その効果を国内他圏域へ拡大する重要な役割を果たす。

目標2 自立型広域連携「アイランド九州」

～快適で幸福な暮らしへ～

成長が離島・半島・中山間地域まで行き渡り、幸福度の高い魅力的な生活環境を構築するため、デジタルとリアルが融合し都市の利便性と地方の快適性が共生した地域生活圏の形成を目指す。

目標3 強く美しい「アイランド九州」

～持続可能でしなやかな社会へ～

地震や豪雨、火山等による大規模自然災害等に対し、強靱な九州圏を構築するとともに、美しい自然を保全し、環境負荷の少ないカーボンニュートラルの実現をリードする、強く美しい圏域を目指す。

広域連携プロジェクト

1. アジア、そして世界と日本の交流・連携・成長拠点プロジェクト

- アジア諸地域に近接した立地特性を活かし、国際連携・交流と競争力を強化。アジアの成長センターとして経済を牽引。
- ゲートウェイ機能強化のため、陸海空シームレスなネットワーク整備を推進。



▲国際物流ターミナルの整備による国際船舶・貨物輸出入を強化する取組
【博多港 アイランドシティコンテナターミナル】

（事業例）
・国際拠点港湾・重要港湾の機能強化や強靱な物流ネットワーク構築、特殊車両通行許可の迅速化推進 など

2. ひとつにまとまり活力を創出する交流・連携プロジェクト

- 中核中核都市と都市・地域生活圏・集落生活圏を陸海空の交通ネットワークでシームレスに連結し、九州圏全体の活力を創出。



（事業例）
・高規格道路網の充実・強化とスマートIC整備等による利便性向上、中核中核都市における交通円滑化やデータを活用した効率的な渋滞対策の促進 など ▲ネットワークの高質化に向けた取組

3. 強みや特色を活かした持続可能な産業振興プロジェクト

- DX・GX推進等、社会経済状況の変化に対応した各産業の基盤整備を推進。自動車・半導体等の各産業にも波及させ、経済安全保障と生産拠点の形成・強化。
- 農林畜産業では食料安全保障の強化、輸出拡大、6次産業化等、稼げる農林畜産業を促進。
- 観光産業では、九州圏一体となった取組により「観光アイランド九州」の発展を促進。
- この他、地域の特色を活かした産業分野で、新たな産業の発展を促進。

（事業例）
・新生シリコンアイランド九州実現に向けた人材育成・サプライチェーン強靱化、観光資源の高付加価値化や九州MaaS活用による広域周遊・長期滞在の促進、農林畜産業の発展・輸出拡大のための官民連携、「道の駅」等の拠点機能強化の推進 など



▲「新生シリコンアイランド九州」実現に向けた取組の一例
【まもと半導体産業推進ビジョン】

4. 中核中核都市を核とした魅力あるまちづくり推進プロジェクト

- 中核中核都市等の広域連携拠点機能を強化し、都市コミュニティの再生により、広域レベルの都市機能から、地域コミュニティまで多世代交流拠点を活性化。
- 広域圏内の情報ネットワークを強化し、各県が自立し一体となって地域活性化に（事業例）
・天神ビッグバンによる中心市街地活性化と地方都市再生、無電柱化・自転車環境整備の推進、「ほこみち制度」活用による賑わい空間創出 など



▲都市機能を強化する取組
【天神ビッグバン】
▲賑わい空間を創出する取組
【高干穂通りの道路空間再編】

5. 離島・半島・中山間地域、都市をつなぐ地域生活圏形成プロジェクト

- デジタル活用、官民連携により、地方の豊かさと都市の利便性が融合、デジタルとリアルが融合した地域生活圏の形成促進。
- 関係人口の拡大・深化、人材育成・確保による地域活性化。
- 各地域の実態に即し、様々な取組を重層的に展開し、着実な地域生活圏の形成。



▲地域生活圏形成に向けた取組
【長崎県五島市でのドローン配送や遠隔医療】

アジア地域

ゲートウェイ機能
国際競争力強化



※本地図は我が国の領土を網羅的に記したものではありません。
※高規格道路ネットワーク図については令和7年4月1日時点の情報。また、北九州、福岡都市圏については、一部の路線を図示していない。

6. 経験を活かした防災と豊かな環境の保全・創出プロジェクト

- ハード、ソフトの両面の対策を推進し、国土基盤の高質化・強靱化。デジタルを活用した国土の適切な利用・管理を推進。
- 生態系の保全やカーボンニュートラルの推進、グリーンインフラの実装等、自然環境と共生するグリーン国土の創造を推進。



▲国土強靱化に向けた取組
【流域治水イメージ図】

7. 国内他圏域との連携プロジェクト

- 国内他圏域との交流・連携の強化により、「国土の均衡ある発展」の実現。
- 質の高い交通やデジタルのネットワーク強化を通じた「全国的な回廊ネットワーク」の形成を図り、国内他圏域との連携を促進。



▲インバウンド・国内観光客の誘致・滞在長期化に向けた取組
【西のゴールデンルート】